

# イノコヅチ



ヒユ科の多年草。火の橋上流の岸辺の日陰に生育している。茎の断面は四角形で高さは1 mくらいになる。葉は対生して先のとがった楕円形になる。長さは15cmほどで、両面に毛がある。夏から秋にかけて、茎の上部または葉腋から15 cmほどの穂状花序を出して、白っぽい緑色の小花を多くつける。

果実が成熟すると、一部がとげ状になり動物の毛や人の衣服に付き、運ばれて分散する。「ひつつきむし」とも呼ばれ、嫌われる植物である。

## トライ② 生物の“逃げ場”になる？



手伝ってくれた中学生



2018  
**これからの活動予定**

- 1/14(日) 年末年始のメッセージ幕撤去
- 19(金) “源流の森”研究会
- 28(日) 定例活動
- 2/25(日) 定例活動
- 3/25(日) 定例活動

井頭池が干からびた時の“緊急避難所”になるかもと、木道の丸テーブルの横に50 cmほどの穴を掘って湧き水を呼び込もうとした…。

## 定例活動 毎月第4日曜 午後1:30～ どなたでも川にはいれます！

### 編集後記

▼今年の1年を振り返る…。私たちが白子川に手を加え過ぎたろうか？ 加え過ぎなかったろうか？ 黙っている源流の前でふと立ち止まる。(ひ)

▼今年は特に多かった。方々の畑が次々と宅地に、コンクリートに変わっていった。一旦宅地になれば土に戻ることはまずない。コンクリートになれば雨は浸み込まない。どこかにないか、土に還る所は。(あ)

▼大木マルバヤナギの見事さと言ったらない！子どもたちが大きな幹をよじ登り、枝にまたがり子ザルよろしく遊んでいる。いかにも愉快。いつか私もと…叶わぬ夢を抱き、今日も愛犬と散歩する。(さ)

▼西武池袋線沿いにある公園と散歩道の境には、2m余りの黒い網が立っている。道側の境から網を見上げると黒い壁に変貌して、残念なことに公園の木々は見えず、広い空は分断されていた。(け)

発行 白子川源流・水辺の会  
 編集 東谷 篤/東谷貞子/菅沢恵子  
 題字 宮本沙海  
 発行部数 1,200部  
 代表 菅沢 博 03-3923-8430  
 練馬区南大泉 1-10-5  
 suga-lohas@jcom.home.ne.jp  
[http://www.geocities.jp/sirako\\_river/](http://www.geocities.jp/sirako_river/)  
 ※この会報は年3回発行しています

当会は TOTO 水環境基金の助成を受けています